

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2020年10月25日（日）

主 題：「神の御前に価値あるもの」

— 2 人の関係 —

テキスト：1 ペテロの手紙 3 章 1～7 節

はじめに

- ・ペテロは当時（約 2 千年前）のユダヤ人クリスチャンが、様々な苦しみと困難にありながら、神の民として歩む幸いを語りました。
- ・次に取り上げたテーマは「夫婦の関係」です。考えてみれば、人間関係でもっとも不思議な関係は、夫婦の関係ではないでしょうか。まったく、「赤の他人」であった二人が、ある時、ある所で、出会うのです。それは恋愛結婚であろうが、見合い結婚であろうが、偶然の出会いであろうが（そういうことはありませんが）、結婚は先ず 2 人の出会いからスタートします。
- ・そして自分の責任において、一生涯、すべてのものを共有し、分かち合うのです。まかり間違えば、これほど危うい関係はないでしょう。
- ・米国の精神科医師である Dr. Grant Mullen は、結婚について次のように述べています。

「人は生きる意味とアイデンティティと、愛と受容を与えてくれる人を見つけたいと願っています。もちろん、これは不可能ですから、絶対にそんな人を見つけることはできません。私たちは過去からの荷物を背負って結婚生活に突入します。当然ですが、自分のやり方が正しく、配偶者が普通ではないと思っています。そして二人の関係は大荒れとなり得るのです。」

- ・皆さん、これは神が定められた結婚から、大きく逸脱している姿であることは明らかです。神が定めた結婚は、そのような「夫婦の関係」ではありません。



< Dr. G・Mullen 著書 >

- ・ところで、3 章のはじめに「同じように」とありますが、何が同じようなのでしょうか。それは前章のことを受けています。ペテロは「たましいの牧者」であるイエス・キリストともに歩む幸いを述べました。その幸いな関係と「同じように」ということです。

- ・私は、「夫婦の関係」は最小の単位であり、最も近い関係であると思います。それは何を指しているのでしょうか。→ 神と私との2人の関係を地上生活で実践することです。ですから、「夫婦の関係」の中で、自分の姿（神のしもべとして）が、どのようなものか映し出されることとなります。ペテロは、今日のテキストで、妻たちと夫たちに対して2点挙げています。

大切なポイント

1. 妻たちは

- ・はじめに申し上げますが、この箇所、「夫婦の関係」の問題のすべてが取り上げられているわけではありません。むしろ、当時の教会に集う既婚女性、既婚男性たちが、特に必要としていたことが語られています。

1) 自分の夫に従いなさい

3:1 同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。たとえ、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって神のものとされるためです。

3:2 夫は、あなたがたの、神を恐れる純粋な生き方を目にするのです。

- ・第一にペテロが勧めていることは、「たとえ、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって神のものとされるためです。」と、期待するよう勧めました。
- ・夫に従う姿を「無言のふるまい」と表現しました。互いの関係が近くなると、言葉で問題が生じることは少なくありません。言葉で間違いを指摘したり、あるいは何かをストレートに求めたりすることがあります。基本的に「無言のふるまい」が大切であると言いました。
- ・誤解しないでください。単に口を開かなければよい、ということではありません。妻の無言のふるまいのうちに、「夫は、あなたがたの、神を恐れる純粋な生き方を目にするのです。」(3:2) のです。そこで、人間の力を超えた何かを見ることが大切であるということです。

2) 隠れた人柄を飾りとしなさい

3:3 あなたがたの飾りは、髪を編んだり金の飾りを付けたり、服を着飾ったりする外面的なものであってはいけません。

- ・一般的に、女性の皆さんは自分を美しく装うことを心がけるでしょう。しかし「髪を編んだり金の飾りをつけたり、服を着飾ったりする外面的なもの」に、心を奪われているなら本質的なものを見失うこととなります。
- ・ここでも誤解しないでください。それは、「お化粧はダメなんですか」と考え

ないでください。あるいは「お化粧品や飾りは、いくらまでなら許されますか？」と考えないでください。それはまったくの検討違いであります。

- どこまで許されますか、という問いは、その枠内であれば安全と考えるものです。そして、その線を越える人を 批判するようになります。それが「律法主義」の特徴です。ペテロは、そのようなことを語ったのではありません。
- 3節で「あなたがたの飾り」という言葉がありますが、「飾り」とは原語で“kosmos”（コスモス）です。コスモスとは、①あるものを秩序正しく所定の位置に置く、②世界（世界秩序）、③装飾品という意味があります。

{例 話}

- 神が創造された天地宇宙は「コスモス」です。神は次のように創られました。
 - 第1の日に：「光と闇、昼と夜」
 - 第2の日に：「大空：天」
 - 第3の日に：「陸地、海、植物」
 - 第4の日に：「太陽、月、星」
 - 第5の日に：「巨獣、魚類、鳥類」
 - 第6の日に：「動物、人間」
- このように神は順序正しく、空に太陽や月や星を設定され、地には陸と海を定められ、それぞれにふさわしい生物を造り置かれました（創世記1章）。これが「コスモス」（秩序、調和）です。
- しかし、人間はこのコスモスを破壊してしまいました。アダムとイブ以来、私たちは「秩序」と「調和」を破ってしまいました。そこで、どのような飾りを持つべきか教えています。

- 大切なポイントは4節です。

3:4 むしろ、柔和で穏やかな霊という朽ちることのないものを持つ、心の中の隠れた人を飾りとしなさい。それこそ、神の御前で価値あるものです。

- 3節で、本当の飾りは外面的なものであってはいけないと、教えをしています。しかし4節では、「心の中の隠れた人を飾りとしなさい。」と積極的な命令をし、それを追い求めることを教えています。なぜなら、それは「神の御前で価値あるもの」であるからです。ペテロは、神の前で心の中で隠れた人に飾りをするように、勧めました。その人には、内側から外側へ、美しさ、気品、優しさというものが現れてくるものです。

3) 昔の女性たちの模範

3:5 かつて、神に望みを置いた敬虔な女の人たちも、そのように自分を飾って、夫に従ったのです。

3:6 たとえば、サラはアブラハムを主と呼んで従いました。どんなことをも恐れなくて善を行うなら、あなたがたはサラの子です。

- ペテロは、「神に望みを置いた敬虔な女たち」を模範とするように勧めています。神に望みをおいて敬虔に生きた女性たちには、内なる気品というものがあります。
- 今から約4千年前の人サラは、すでに80代になっていました。しかし夫アブラハムは、エジプトの王は自分を殺して、妻を奪うのではないかと心配しました。きっと、サラの内に他の人になんかあったからでしょう。
- 創世記1章には次のように書かれています。

18:12 サラは心の中で笑って、こう言った。「年老いてしまったこの私に、何の楽しみがあるでしょう。それに主人も年寄りで。」

主人とはヘブル語では、単に「私の夫」という意味にすぎません。しかし、ペテロはここで夫を「主人」という意味で用いています。

- 言葉だけでなく、夫を尊敬の念を込めて「主人」と呼べる人は幸いです。また男性もそう呼ばれるに、ふさわしい夫とならなければなりません。主人という言葉には美しい響きを感じます。
- ペテロは、神を恐れるゆえに、どんなことをも恐れなくて善を行ったサラを模範としなさいと、励ましました。

2. 夫たちよ

3:7 同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らさなさい。また、いのちの恵みをともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたがたの祈りは妨げられません。

- 今度は、夫たちに対する教えです。女性の皆さん。ここで夫に対する教えの方が短いのではないか。不公平だ！ 聖書は男女同権の現代には当てはまらない！と思う方もおられるかも知れませんね。
- 確かに現代の感覚からすると、そう思えるかも知れません。しかし、聖書学者はこのテキストは約2千年前の中近東の文化を考慮して読む必要があると言います。

『例話』 サウジアラビア

- サウジアラビアで女性の自動車運転が許可されたの、2018年6月でした。それまで、サウジアラビア社会では女性ドライバーは見当たりませんでした。女性が運転を許可されたということは、歴史的なことであると報じられました。



- ・女性の自動車運転が許可された翌年2019年、今度は王室のカーレースで、女性ドライバーが現れました。サウジでは今後、女性がハンドレウを握る人数はさらに伸びると予想されています。
- ・これまでサウジアラビアは、男女同権ではありませんでした。しかし聖書は、夫は妻を敬いなさい、と教えていることを覚えてください。

1) 妻を尊敬しなさい

- ・先ず、3章1節のように「同じように」とあります。つまり、妻が夫に従って歩むようです。そして、その夫たちに勧められたことは、「尊敬しなさい」です。
- ・すなわち、聖書は妻たちに対して勧めをしたように、夫たちに対しても「同じように」、と勧めをしています。ですから、夫は妻に対して一方的な押し付けはできないということです。

2) 妻をどのように尊敬するか

- ・ペテロは2つのことを述べています。

① 「妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。」

「弱い器」とは能力が低いとか、人格的に劣っているということではありません。夫は体が弱く、妻がパワフルという夫婦もいますが、一般的に言って、男性の方が力があるということです。

- ・当時の中近東の社会では、夫が妻を力で威圧することがあったそうです。(今でも、ありますが) それではいけません。妻のデリケートさ、繊細さを理解しなさい!とペテロは勧めました。2千年前の中近東の世界とは思えない、配慮ある言葉です。もう1つは、

② 妻を、「いのちの恵みとともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。」と教えています。神が与えてくださる「いのちの恵み」は、「ともに受け継ぐ」べきものです。片方だけではありません。一方だけが幸せということはありません。夫は妻とともに、喜ぶのです。そこには神の祝福があります。

③ 妻を尊敬する結果

「そうすれば、あなたがたの祈りは妨げられません。」(祝福)

- ・逆にいうならば、妻を尊敬しないならば、祈りは妨げられるということです。このように妻は家長である夫に従い、夫は妻を尊敬するという関係は、正しい「夫婦の関係」です。互いに愛し合い、敬う関係、それが「夫婦の関係」の奥義です。

- ・神の前に価値があるのは「夫婦の関係」です。2人の関係です。
妻の正しい飾りとは、内なる人を飾る（コスモス）ことです。また夫は、自分と「同じように」妻を愛することです。それが正しい関係です。
- ・しかし、現実の私たちはどうでしょうか。神が与えてくださった「コスモス」から遠いところにいます。したがって、「夫婦の関係」の秩序と調和も崩れてしまいました。自分勝手は歩みと生活をしている、夫、妻は少なくありません。どれほどのカップルが「夫婦の関係」で、頭をかかえているのでしょうか。
- ・聖書のみことばを聞いている私たちは、そうであってははいけません。正しい関係に戻ることです。このみことばの勧めを受け入れることです。素直に、聖書のことばを受け入れて、正しい関係に戻ることです。
- ・では、どうすれば良いのでしょうか。それは、もし不足があるならば、正直にイエスのもとに来ることです。夫であれ、妻であれ、もし不足があるならば、イエスによって赦していただくことです。 **1ヨハネ1章**
1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

ま と め

主 題：「神の御前に価値あるもの」

— 2人の関係 —

- ・今日、私たちは「夫婦の関係」の奥義を聞きました。それは互いに愛し合い、尊敬し合うことです。なんと幸いな関係でしょうか。それを実践する奥義は、次の聖句にあります。
 1. 妻たちへ
3:1 同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。たとえ、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって神のものとされるためです。
 2. 夫たちへ
3:7 同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。また、いのちの恵みをもとに受け継ぐ者として尊敬しなさい。
 - ・私たちは、神の秩序から外れるのではなく、神の秩序に生きる者となりましょう。なぜなら、神の秩序（コスモス）には、神の祝福がまっているからです。神のみことばに従っていきましょう。
- * God bless you !